

歴史から見る男女

いよいよ「令和」の時代がスタートしました。

新しい時代の「男女共同参画」の進展も期待される場所です。ところで「平成」の時代に至るまで、日本において男性と女性の関係はどのような歩みをたどってきたのでしょうか。

古代には、政治の中心は男性でしたが、女性の天皇も多く存在しました。当時、結婚生活は基本的には女性の家を中心で、家や財産は女性を受け継ぎ、生まれた子どもは母親とその親兄弟が育てていました。女性の地位は比較的高かったのです。

武士が政治の実権を握った中世以降は、武力で支配される時代になります。体力や筋力があって戦えることが大きな価値を持った時代。男性と女性とでは生物学的に男性の方が力が強いですし、社会的・経済的地位は圧倒的に男性の方が高くなりました。また、女性が男性の家に入るといふ結婚形態が変わってきます。次第に「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担が形成され、浸透していききました。明治時代に入り、外国に追い

つけ追い越せと国を強くするスローガン「富国強兵」が掲げられました。軍隊強化のため男性の義務として徴兵令が出され、男性は兵士になることが男らしいと考えられるようになりました。一方、女性はそれを支えるため「良妻賢母」であることを求められました。男性も女性も自分の個性を押し殺して生きなければならなかったのです。

そして現代。今に続く男女共同参画に向けた歩みは、戦後の婦人参政権獲得や日本国憲法の制定を出発点として、昭和60年の男女雇用機会均等法の制定、平成11年の男女共同参画社会基本法制定などにより着実に進んできています。

男性と女性の関係は時代によって、その生活習慣や社会のあり方に合わせてさまざまに変化してきました。「令和」の時代は男性と女性の関係はどのようなようになっていくのでしょうか。一人一人の個性と能力を發揮できる社会の実現に向け、身近なところから考えてみませんか。

〈他人事じゃない!? 怖〜いトラブル〉

消費生活のお話

生活環境課 (内線172)

チケット購入に関するトラブル

9月20日から日本で開催予定の「ラグビーワールドカップ2019日本大会」のチケットの第2次一般販売が1月から開始されましたが、次のような相談が寄せられました。公式チケット販売サイトだと思って購入したが、実は海外の転売サイトで購入しており、転売サイトで購入したチケットは当日利用できないと公式サイトに書いてあるのでどうしたらいいか」という相談です。

海外のチケット転売仲介サイトには、利用規約の中で、返金を保証すると規定していることもあります。一定の条件に該当しない場合は保証されません。また、トラブルになった際に問い合わせをしてもコミュニケーションを取るのが難しく、キャンセルの条件や返金の保証などについて交渉が難しい場合があります。

チケットを購入する際には、公式チケット販売サイトであることを確認してから購入しましょう。

東京オリンピックのチケットに関しても、同様のトラブルが予想されます。購入する際は、公式の発表を必ず確認しましょう。

消費生活相談窓口

場所 市役所1階 生活環境課  
日時 月～金曜日・午前9時～午後4時 (予約優先)  
※相談には、できるだけ契約者本人がお越しください。

